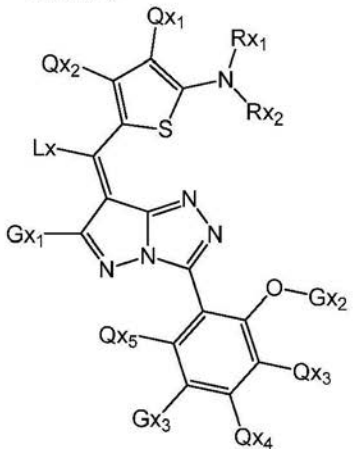
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公開番号】特開2015-161825(P2015-161825A)
【公開日】平成27年9月7日(2015.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2015-056
【出願番号】特願2014-37354(P2014-37354)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　9/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　9/09　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　9/087　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　9/08　３７５
Ｇ０３Ｇ　9/08　３６１
Ｇ０３Ｇ　9/08　３１１
Ｇ０３Ｇ　9/08　３３１
Ｇ０３Ｇ　9/08　３２５

【手続補正書】
【提出日】平成29年2月14日(2017.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも結着樹脂と、
下記一般式（１）で表される色素および下記化学式（２）で表される金属化合物からなる着色剤と、
体積平均一次粒子径が６０～１５０ｎｍであるシリカ微粒子を含む外添剤と、
を含む静電荷像現像用トナー：
【化１】

一般式(1)



前記一般式（１）中、
Rx_1およびRx_2は、それぞれ独立して、置換されているかまたは非置換の炭素数１～２０の直鎖状、分枝状、または環状のアルキル基であり、

Ｌｘは水素原子、または置換されているかもしくは非置換の炭素数１～２０の直鎖状、分枝状、もしくは環状のアルキル基であり、

Gx_1は置換されているかまたは非置換の炭素数２～２０の直鎖状、分枝状、または環状のアルキル基であり、

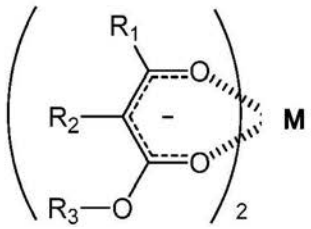
Gx_2は置換されているかまたは非置換の炭素数１～５の直鎖状または分枝状のアルキル基であり、

Gx_3は水素原子、ハロゲン原子、Gx_4－ＣＯ－ＮＨ－で表される基、またはGx_5－Ｎ（Gx_6）－ＣＯ－で表される基であり、この際、Gx_4は置換基であり、Gx_5およびGx_6は、それぞれ独立して、水素原子または置換基であり、

Qx_1、Qx_2、Qx_3、Qx_4、およびQx_5は、それぞれ独立して、水素原子または置換基である、

【化２】

一般式(2)



前記一般式（２）中、

Ｍは、２価の金属であり、

R_1は置換されているかまたは非置換の炭素数１～２０の直鎖状、分枝状、または環状のアルキル基であり、

R_2は水素原子、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、スルファモイル基、スルフィニル基、アルキルスルホニル基、アリールスルホニル基、アシル基、ハロゲン原子、またはシアノ基であり、

R_3は置換されているかまたは非置換の炭素数９～１２０の芳香族炭化水素含有基である。

【請求項２】

コア部とシェル部とからなるコアシェル構造を有する、請求項１に記載の静電荷像現像用トナー。

【請求項３】

前記シェル部を構成する樹脂がポリエステル樹脂である、請求項２に記載の静電荷像現像用トナー。

【請求項４】

前記シェル部を構成する樹脂のガラス転移温度が４５～６５℃である、請求項２または３に記載の静電荷像現像用トナー。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

１．少なくとも結着樹脂と、下記一般式（１）で表される色素および下記化学式（２）で表される金属化合物からなる着色剤と、体積平均一次粒子径が６０～１５０ｎｍであるシリカ微粒子を含む外添剤と、を含む静電荷像現像用トナー：

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明は、少なくとも結着樹脂と、下記一般式（１）で表される色素および下記化学式（２）で表される金属化合物からなる着色剤と、体積平均一次粒子径が６０～１５０ｎｍであるシリカ微粒子を含む外添剤と、を含む静電荷像現像用トナーである。